

部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会

会 長 加藤 章善 様

メッセージ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第34回定期大会のご開催を心よりお祝い申し上げます。

あらゆる差別をなくし、人権を確立する闘いに対して日々ご尽力
いただいていることに心から敬意を表します。私たち議員団として
も、活動方針を共有し、しっかりと連携して活動してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症についても、更に全国的に感染拡
大が広がり、予断を許さない状況になっている中、私たち議員団も市
民生活の安心・安全のため、対策に全力で取り組む所存です。

今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

むすびに、今大会が実り多きものとなりますとともに、今後ますます
のご発展をお祈り申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

2020年12月11日

民主・市民フォーラム京都市会議員団

団 長 山岸 たかゆき

部落解放・人権政策確立要求 京都市実行委員会第 34 回大会の開催まことにおめでとうございます。

日頃より加藤章善会長様を先頭に貴京都市実行委員会におかれましては、部落解放の主旨に留まることなく、あらゆる人権の確立のためにご尽力頂き心より感謝申し上げます。

今年は新型コロナウイルス禍により、未だ経験したことのない日常の営みを強いられ、感染者差別に留まらず、目に見えないところにおいても人権がおびやかされていると危惧しております。私ども公明党京都市会議員団としても、人権の党として、皆さまと心を合わせ、希望と調和の社会実現のため、誰一人取り残さないとの思いを更に強く、共に歩んでまいりたいと存じております。さらに貴京都市実行委員会様の益々のご繁栄と、委員会の皆さまお一人お一人のご健康を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

令和 2 年 12 月 11 日

公明党京都市会議員団

団長 湯浅 光彦

部落解放・人権政策確立要求
京都市実行委員会
会長 加藤 章善 様

メ ッ セ ー ジ

部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会第34回大会のご盛会、誠におめでとうございます。

部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会の皆様方におかれましては、部落問題の解決とあらゆる差別の撤廃に向け、日々ご奮闘されておられますことに心より敬意を表します。また日頃から、私ども自治労京都市職員労働組合へのご指導ご鞭撻を頂いておりますことに対し、心から感謝を申し上げます。

私たち公務労働者を取り巻く状況は依然として厳しく、労働組合を取り巻く環境も大きく変化しようとしています。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関連して「新しい生活様式」の定着や「対応戦略」の実践がすすめられ、引き続き職場環境や働き方の対応が求められる状況となっています。

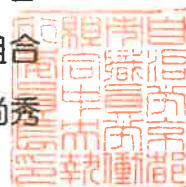
市民に信頼される労働組合として、社会の安心・安全・信頼の基礎となる地域公共サービスの担い手としての責任を果たし、安心して生活できる社会保障制度の確立をはじめ、地方自治の充実発展と、平和憲法の堅持、そして、自治体労働者はもとより、全労働者の生活と労働条件の一層の前進が喫緊の課題であります。

部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会の皆さんにおかれましては、今大会を契機とし、部落の完全開放、すべての差別撤廃に向けた、力強い運動を一丸となって邁進されることをご祈念申し上げ、連帯のメッセージとさせていただきます。

2020年12月11日

自治労京都市職員労働組合

中央執行委員長 森本 尚秀



メ ッ セ ー ジ

本日ここに、「部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会第34回大会」が開催されますことを心よりお祝い申し上げます。日頃より、加藤章善会長をはじめ、皆様には大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの新規感染者数が日々増加し、第三波が言われる中、コロナ禍のストレスも加わり、社会には多くの誹謗中傷が蔓延しています。また、経済環境の厳しさから更なる格差の拡大が懸念されており、立憲民主党としては、命と暮らしを守るべく、検査体制の拡充や休業支援金の対象拡大、自治体への交付金増額など、様々な施策の充実を政府に求めています。

部落差別解消推進法の制定から4年が経とうとしている今、京都市においても、まさに多文化共生・人権尊重のまちづくりが進められているところです。引き続き、包括的な人権救済制度の実現にも努力してまいります。

解散総選挙も近づく中、皆様とともに人権と平和、そして暮らしを守る政権をつくるため立憲民主党も全力を尽くします。

結びに、部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会のますますのご発展をご祈念申し上げ、メッセージとさせていただきます。

2020年12月11日

立憲民主党京都府総支部連合会
会長 泉健太

メ ッ セ ー ジ

本日ここに、「部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会 第34回大会」が開催されますにあたり、一言ご挨拶申し上げます。加藤章善会長をはじめ、日頃より皆様には大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

本年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、医療従事者等のエッセンシャルワーカーの方々やその御家族が不当な差別的取扱いを受ける事例が報道されています。また、感染者やその属する施設等に対する誤解や偏見に基づく差別も問題となりました。このような不当な差別や偏見は許されないものであり、速やかな対応が必要です。

部落差別解消推進法に基づく実態調査の結果が公表されました。地方公共団体との意思疎通を一層深めるとともに、ネット上の人権侵害への積極的な取組、相談対応力の向上等を政府に強く求めていきます。さらに、包括的な人権救済制度の実現に向けて、引き続き尽力して参ります。今後のご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

本日の大会が活発なご議論の中、実りあるものとなりますこと、部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会の今後益々のご発展をご祈念申し上げ、メッセージとさせていただきます。

2020年12月11日

立憲民主党幹事長

参議院議員 福山哲郎



メッセージ

部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会

「第三十四回大会」のご盛会を心からお慶び申し上げます。

平素より、人権と平和、あらゆる差別の撤廃に向けて、ご尽力を賜っておりますことに敬意と感謝の意を表させていただきます。

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策にご尽力を賜る中、一日も早い事態の収束と、多大な影響を受ける国民の皆様のご生活を守るため、私も全力を尽くして取り組みを引き続き進めてまいり所存です。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本会が実り多いものとなり、部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会の今後益々のご発展、本日もご参集の皆様の一層のご健勝ご多幸を心からご祈念申し上げます。

二〇二〇年十二月十一日

衆議院議員

前原誠司

